

ハ禁輸其他ニ就キ友好的態度ヲ取ルコト

ニ授荷行爲ヲ中止スルコト

其其他日本ヲ相手トスル不利ナル軍事の取極ヲ行ハサルコト

陸軍

豊田大臣「スメタニン」大使會談要旨

(一六八一三)

「スメタニン」ヨリ八月五日ノ大臣ノ申出ニ對スル「ソ」政府ノ回答ヲ爲スヘシトテ

(一)日本カ中立條約ヲ遵守スヘシトノ大臣ノ言明ヲ「ソ」政府ハ満足ヲ以テ了承ス

(二)利権問題ハ松岡「モロトフ」間ニ交換セラレタル警輸竝ニ五月三十一日建川大使ヨリ「モロトフ」ニ差出シタル警輸益依並解決セラルヘキモノト思料ス

(三)「ソ」支關係ニ付テハ中立條約ハ第三國トノ關係ヲ律シ居ラサルヲ以テ日本政府カ本問題ヲ持出サレタルハ根據ナシ但シ「ソ」政

府ハ昨年七月六日「モロトフ」ヨリ東郷大使ニ對シ「ソ」聯ハ自
國ノ國防ニ逐ハレ居ルヲ以テ「ソ」聯ニトリテハ本問題ハ重要ナ
ラスト述ヘタルコトヲ茲ニ確認スルノ要アリト鄭々況ヤ「ソ」聯
カ對獨防禦戰爭ニ逐ハレ居ル現在ニ於テオヤ
韓日本政府ハ「ソ」聯ノ締結セル軍事同盟ノ東亞ニ及フコト「ソ」
聯カ日本ヲ對照トスル軍事同盟ヲ結フコトニ付危惧ノ念ヲ抱カル
ルカ如キモ「ソ」政府ハ中立條約ヲ遵守スヘシ貴大臣カ豫想セラ
レタルカ如キ事態ノ起ラサルヘキハ勿論ナリ

匈英「ソ」協定ハ獨ノミツ對照トスルモノニテ日本ニ關係ナキコト
七月十五日「モロトフ」言明ノ通りナリ

内「ソ」政府カ極東ニ於テ領土ヲ第三國ニ租借、讓渡シ又ハ軍事基

地ヲ與フルカ如キコト決シテナカルヘク之等ノ風説ハ日「ソ」ヲ
離間セントスル他國ノ宣傳ナルヘキコトヲ指摘スルト共ニ日本カ
最近滿洲國ニ於テ大仕掛ケノ準備ヲ爲シツツアルコトニ付説明ヲ
求メントス

ト述ヘタリ依テ大臣ハ

(一)「ソ」側モ中立條約ヲ嚴守スヘシト累ネテ確認セラレタルハ満足
ナリ

(二)利權問題ニ付テハ其ノ後豫期セサル事態ノ變化アリ之ニ付テハ充
分考慮ノ要アリ

(三)「ソ」政府カ第三國トノ軍事同盟ヲ極東ニ波及セシメス日本ヲ目
的トスル同盟ヲ締結セサルコト且本大臣ノ豫想スルカ如キ事態ノ

生セサルヘキコトヲ明カニシタルコトハ了承セリ

領土ノ租借、讓渡及軍事基地ヲ第三國ニ與ヘサルヘキ旨ノ旨明モ
充分了承セリ

(四)滿洲ニ於ケル軍備ハ隣國ニ於テ稀有ノ大戦行ハレ居リ之カ波及ヲ
阻止スル上ヨリモ又滿ニ對シ共同防衛ノ義務アル日本カ滿洲國ノ
治安ヲ維持スル見地ヨリモ止ムヲ得サルヘシ又御話ノ通り第三國
側ノ宣傳及策動モアリ得ヘク此ノ點ハ日本政府モ一應考慮スヘシ
内援將ニ付テハ法律論ヨリモ寧ロ精神ノ見地ヨリ其ノ事實アレハ中
止方申入レタル次第ニテ新開等ニ依レハ米等ヨリ滿洲ヲ通シ武器
輸入セラレ居ル趣ナル處今後輸入量増加センカ第三國同盟ヲ外交ノ
基調トスル日本ノ立場ヲ極メテ微妙ナラシムヘキニ付此ノ點特ニ

考慮アリ度シ

ト應酬セラレタリ之ニ對シ「ス」大使ハ

(一)利権問題ニ付事類ノ變化ヲ云爲セラレタルハ松岡「モロトフ」話

合ヒテ取消ササル意ナリヤ

(二)滿洲、日本ニ於ケル軍備ハ「ソ」聯ニ向ケララルモノニ非スト述

ヘラレタリト解シテヨロシキヤ

ト質問シ大臣ハ

(一)其後凍結令等實施セラレ石油等ノ問題ハ特ニ重要トナレリ之レ變

化セリト一ノ説明ナリ本問題ニ付テハ研究ノ上根本的ニ解決シ

タク詳細ハ歐亞局長ト貴方參事官トノ間ニ話合ハシムヘシ

(二)貴見ノ通りナリ

ト回答セラレタルニ「ス」大使ハ

(一)利権問題ハ研究ノ上更ニ後日之ニ觸レラルヘキ態了承セリ

(二)軍備ニ對スル御言明ハ頗ル欣快トスルトコロナリ

(三)日「ソ」間善隣友好關係ノ今後ノ發展ニハ一切ノ素地アリト述フ

次テ阪本局長ヨリ阪井組合ニ付テハ前同會談ノ際「ス」大使ハ既に以前ニ解決済ニテ四年來問題トナリタルコトナシト述ヘラレタルカ右利権ノ不法回收ニ付テハ二年前ニモ日本側ハ「ソ」側ニ抗議セル事實アリ日本側ハ今モ尙抗議ヲ維持スル次第ニテ將來ノ誤解ヲ避ケル爲事實ヲ明ニ致シ置キ度シト述ヘタルニ「ス」大使ハ自分ハ右事ヲ了知セサレハ取調ヘ回答スヘシトテ會談一時間半ニテ終了セリ

陸軍

五月三十一日建川大使ヨリ「モロトフ」ニ交付セル書翰

松岡日本閣外務大臣ノ個人的「メツセイジ」

「本大臣ハ曩ニ莫斯科ニ於テ言明セル通り北樺太利権解消ノ問題

ハ約東セル日ヨリ幾ラ週レテモ六ヶ月内ニハ必ス解決スル決意

ヲ有スルコトヲ茲ニ重ネテ確言スル用意アリ

ニ通商協定及漁業條約締結交渉ノ圓滿ナル妥結ハ現在ノ我國内情

勢ト極メテ機微ナル關係ヲ有スル利権解消問題ニ對スル本大臣

ノ國內的立場ヲ容易ナラシムルニ依リ左記ニ依リ兩交渉ヲ促進

スル様希望セサルヲ得ス

(四)通商協定ハ蘇側ノ提議タル陸海運賃差額ノ現物拂ハ日本側ニ不可能ヲ強ヒントスルモノナレハ之ヲ撤回シ日本側提議タル

「出来ル限リ現物ヲ以テ支拂フヘシ」ヲ受諾シ協定署名ノ爲
 速ニ交渉ヲ終結スルコト
 (四)漁業條約ハ五月十四日日本側提案ヲ基礎トシ交渉ヲ六月中ニ
 妥結ニ導キ續イテ條約文ノ整理ニ入り八月中ニ同條約文ニ署
 名スルコト(了)

陸軍

對泰施策概要

一六八一三
 外務案

一、此際帝國政府ニ於テ若シ泰國ニ對シ軍事的又ハ政治的行動ヲ起シ
 又ハ交渉ヲ開始スルカ如キコトアランカA B C Lトノ衝突ヲ直ニ
 惹起スヘキコト瞭然タリ

二、右衝突ヲ避クルコトハ今日我國ノ對國際關係處理上絕對必要タト
 認メラルニ付左記ノ如キ方針ニ依リ對處スルコト

記

(一)泰ニ對シテハ軍事的及高度政治的行動ヲセサルハ勿論之カ交渉
 ヲ行ハス
 (二)尙右ニ關シ必要ニ應シ英米ニ對シ保障ヲ與フ